

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公開番号】特開 2003-196003 (P2003-196003A)  
 【公開日】平成 15 年 7 月 11 日 (2003.7.11)  
 【出願番号】特願 2002-294797 (P2002-294797)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/02  
 // H 0 1 H 3/12  
 【 F I 】  
 G 0 6 F 3/02 3 1 0 F  
 H 0 1 H 3/12 E

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 10 月 19 日 (2005.10.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

電気装置であって、  
 前記電気装置の処理を制御するために利用することが可能なボタンを受け入れるようになっている複数のボタン開口部と、  
 前記装置のボタン開口部内に配置されると特定の機能を前記電気装置に識別させ、その結果、ボタンが配置されている前記ボタン開口部に関係なく、特定の機能を開始するために特定のボタンが利用され得るように設定されるようにコード化されている複数の着脱式ボタンと、  
 を備えたことを特徴とする電気装置。

【請求項 2】  
 前記ボタンに、ユーザの所望通りに前記電気装置を個人化するためにユーザによって選択された配置で前記電気装置上に設置できるように、ユーザによる選択を可能にする別々の特徴が与えられていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気装置。

【請求項 3】  
 前記機能が、ボタンの押下時における特定の音の発生に関連していることを特徴とする請求項 1 に記載の電気装置。

【請求項 4】  
 電気装置であって、  
 前記電気装置の処理を制御するために利用することが可能なボタンを受け入れるようになっている複数のボタン開口部と、  
 前記ボタン開口部内に配置可能なコード化された着脱式ボタンに関連した特定の機能を判定するようになっている、前記ボタン開口部に設けられた機能検知素子と、  
 を備えたことを特徴とする電気装置。

【請求項 5】  
 前記機能検知素子が、前記着脱式ボタンのピンを受け入れるようになっているピン開口部を有することを特徴とする請求項 4 に記載の電気装置。

【請求項 6】  
 交換可能に電気装置に利用できるようになっている着脱式ボタンであって、

特定の機能が割り当てられるようにコード化されていて、その結果、前記ボタンを前記電気装置のボタン開口部内に配置すると、前記電気装置が、割り当てられた機能を判定し、ボタンが押されると前記機能を開始するように設定されることを特徴とする着脱式ボタン。

【請求項 7】

交換可能でありコード化されたボタンを受け入れるようになっている複数のボタン開口部を備えた電気装置を個人化する方法であって、

特定のコード化ボタンに関連づけられる、特定の装置機能の選択を受け取るステップと、

コード化ボタンが前記電気装置のボタン開口部内に配置され押されると選択された機能が前記電気装置によって実行されるように、前記選択された装置機能を前記コード化ボタンに割り当てるステップと、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 8】

前記ボタンが配置される特定のボタン開口部に関係なく、前記コード化ボタンを押すと、前記選択された機能が前記電気装置によって実行されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

電気装置を個人化する方法であって、

ユーザが入力する記録コマンドを受け取るステップと、

前記記録コマンドの受け取り後に、個別の装置機能にそれぞれ関連づけられているさまざまな装置ボタンの選択を検出するステップと、

ユーザによる押下時に各機能の実行を開始するように別のボタンがプログラムされるように、選択された前記ボタンに関連づけられた機能のうちのそれぞれを前記別のボタンに割り当てるステップと、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 10】

プログラムされるボタンの選択をユーザから受け取り、前記選択されたボタンに前記機能を割り当てるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。